

モーニング ニュース
MORNING NEWS

No.4237

2021年1月19日
東海東京調査センター
投資調査部・外国企業調査部

海外市況データ

N Y ダウ 休場 (休場)	C M E 日経 休場 (休場)	(中国) 上海 総合 3,596,224 (+29,846)	C R B 休場 (休場)
S P 5 0 0 休場 (休場)	米 10 年 債 休場 (休場)	(インド) S E N S E X 48,564.27 (▲ 470.40)	コメックス金 休場 (休場)
ナスダック 休場 (休場)	ドル円 (NY) 休場 (休場)	(ブラジル) ボベスバ 121,241.6 (+892.8)	W T I 原油 休場 (休場)

(出所)ブルームバーグより東海東京調査センター作成、()内は前日比、CME日経の()内は大阪市場比

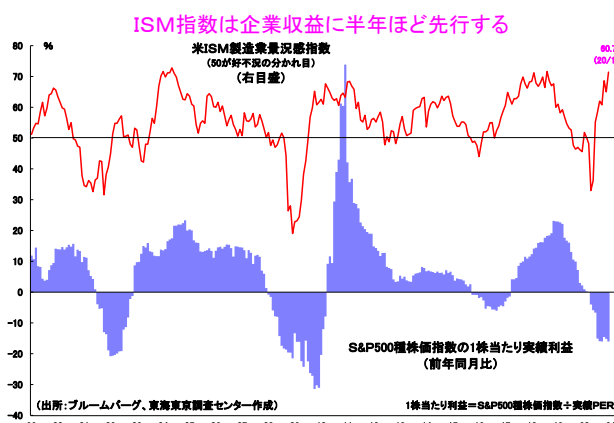
本日のマーケットコメント

- 昨夜の米国株は休場だったが、先週後半に反落し、久々に調整含みになった。新型コロナ感染者の増加はピークアウト気味だが、依然高水準(3ページの図1)。これを受けて新規失業保険申請件数はやや増加し(3ページの図2)、小売売上高は3ヵ月続けて減少した(3ページの図3)。ハイテク株は半導体関連が堅調だが、アップルなどGAFAMが伸び悩み(4ページの図4)、バイデン政権の巨大IT企業に対する「圧力」が意識されている可能性がある。先週末の10~12月期決算発表の場で先行きの業績に慎重姿勢を見せたJPモルガン・チェースなど大手米銀株は下落した(米企業収益については下記の「本日の注目ポイント」も参照されたい)。以上の点から、米国株は当面、健全な自律調整に転じるとみたい。
- 昨日の日経平均は続落した。先週末の米国株安に加え、先週まで寄与度が高い一部の値がさ銘柄に大きく押し上げられた反動が出た。ニューヨークタイムスが「東京五輪、中止の可能性」と報じたこともムードを悪くした。需給面では昨日の当欄で記したように野村証券の先物の踏み上げに一巡感があり、投機筋のシカゴ日経平均先物の買い建玉がかなり積み上がったように(4ページの図5)、海外勢の買いにも一巡感がある。当面は米国株の動向をにらみながら自律調整に転じそう。テクニカル的には日足の一目均衡表の転換線に押し上げられるかどうかが焦点(4ページの図6)。(隅谷)

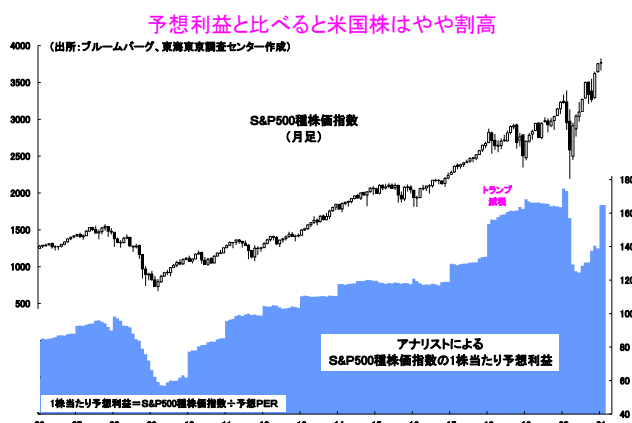
本日の注目ポイント

~ 米企業の決算発表に対する反応に注目 ~

＜図1：米ISM指数とS&P500種指数の実績利益＞



＜図2：S&P500種指数とアナリストによる予想利益＞



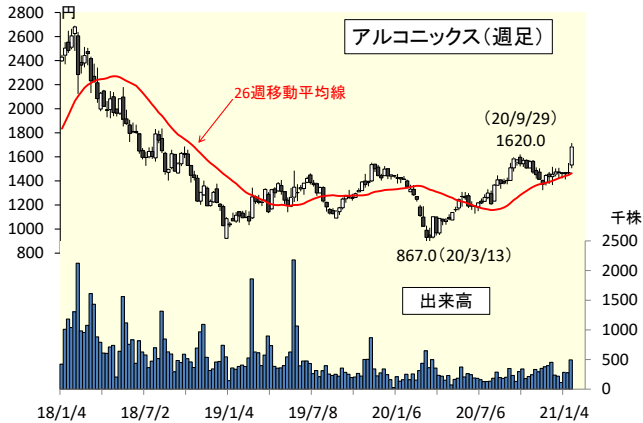
- 米企業の昨年10~12月期の決算発表が始まった。今週は19日のネットフリックス、20日のアルコア、プロクター・アンド・ギャンブル、21日のインテル、IBMが注目される。ISMが毎月初旬に発表する製造業と非製造業の景況感指数は企業向けアンケート調査という速報性を生かし、増益、減益など企業収益の方向性に半年ほど先行する習性がある(図1)。製造業の景況感指数が好不況の分かれ目である50を上回ったのは昨年6月だったので(図1)、半年後の今年1~3月期には減益から増益に転換、昨年12月は60.7まで上昇したので(図1)、7~9月期以降は2割程度の増益を示唆している。
- アナリストも今年1年間の企業収益は大幅な増益に転じ、コロナ前だった一昨年の利益水準を回復すると予想している(図2)。こうしたアナリストの増益予想に加え、バイデン新政権の財政出動とFRBの金融緩和がS&P500種株価指数を過去最高値に押し上げた。ただ、アナリストが予想する今年の利益水準と比べると現在の株価水準にはやや割高感がある(図2)。このため、今回、好決算が発表されても、市場でいったん材料出尽くし感が浮上する可能性がある。(隅谷)

本日の銘柄情報

【昨日動いた株】

アルコニックス(3036) ～南鳥島深海底のレアメタル採掘を材料に急騰～

1/18 終値1,683.0円



同社株は昨日急騰。一部紙で、政府が将来の商業化に向けて、南鳥島近海の深海底レアメタルの採掘技術確立を2028年末までに目指す、との報道が材料視されたとみる。

同社は非鉄原料商社。とくに、レアメタル(希少金属)に強みを有する。5Gや電動自動車(リチウムイオン電池)などに不可欠のレアメタルは、元々地球上の特定地域に偏在。政情不安定なコンゴや、中国などの新興国に供給の大半を依存している。南鳥島近海はわが国の排他的経済水域(EEZ)であり、産出が軌道に乗れば資源確保で優位となろう。

報道を受けて三井海洋開発(6269)など海底資源関連銘柄が上昇。同社株も20年9月の高値を上抜け、戻りを試す展開。28年までと長期の材料ながら、グリーンエネルギー関連の物色にも繋がり、今後の動きが注目される。(川又)

出所: 会社資料、QUICK より東海東京調査センター作成

20年12月に連結子会社従業員による不正会計が発覚、現在調査中。発表時点でこれによる業績への影響は約2.5億円としている(20/3期の純利益は36億円)

国内外の投資関連指標(1/18)

情報端末の不具合により割愛させていただきます。

※東海東京調査センター 投資調査部 が発行するレポートにおける個別企業の評価、株価予想およびセクター判断には、当該企業の調査を担当する東海東京調査センター[企業調査部]のセクターアナリストがファンダメンタルズ分析に基づいて行う評価(レーティング)ならびに同分析から算出する目標株価とは一致しない場合があります。

(次頁に続く)

図1 米国のコロナ感染者の増加は依然高水準

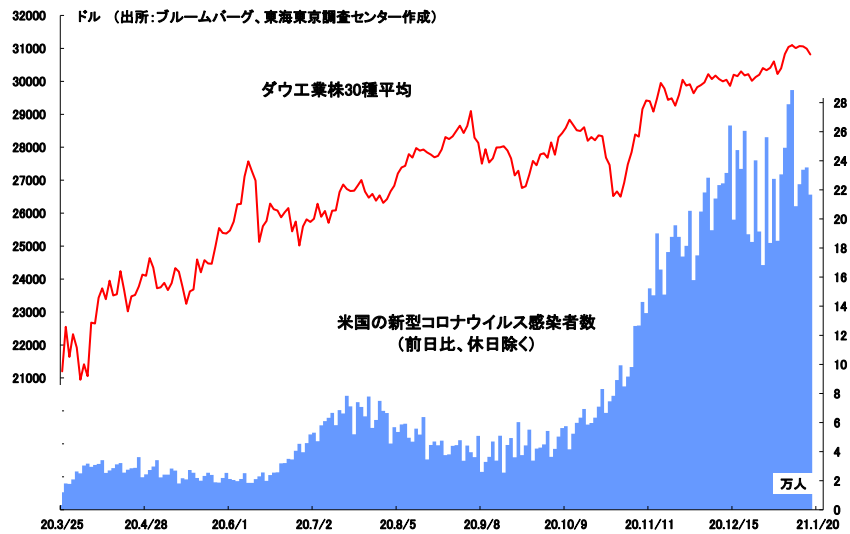


図2 米失業保険申請件数は小幅ながら増加

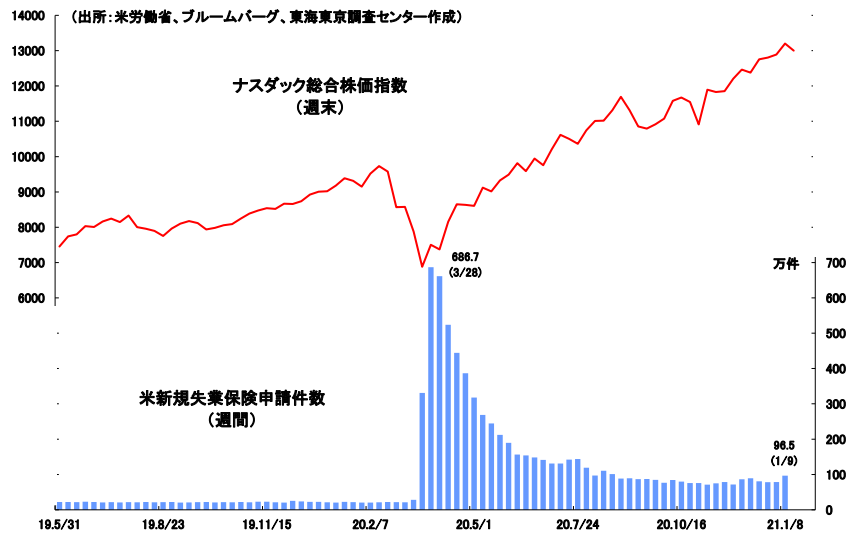


図3 米小売売上高は3カ月続けて減少

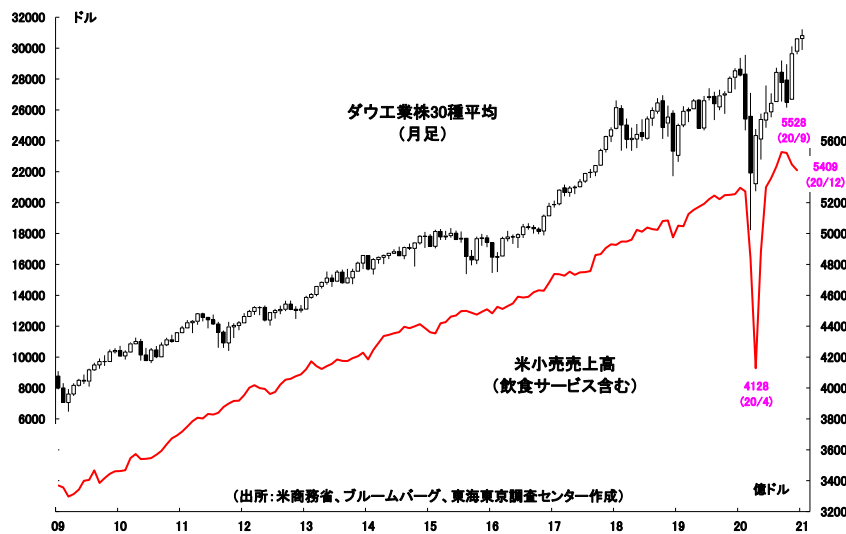


図4 アップルが伸び悩み、半導体も上値が重そう

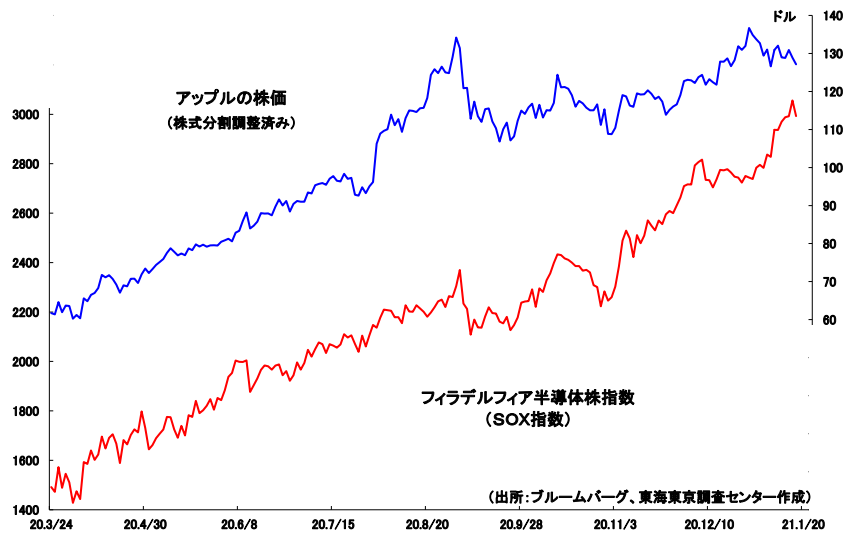


図5 シカゴ投機筋の日経平均先物の買い建玉が拡大

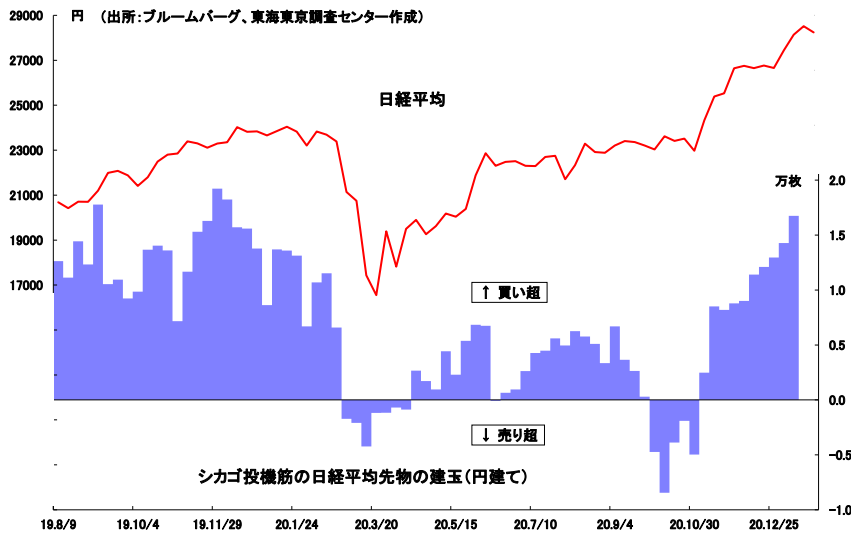
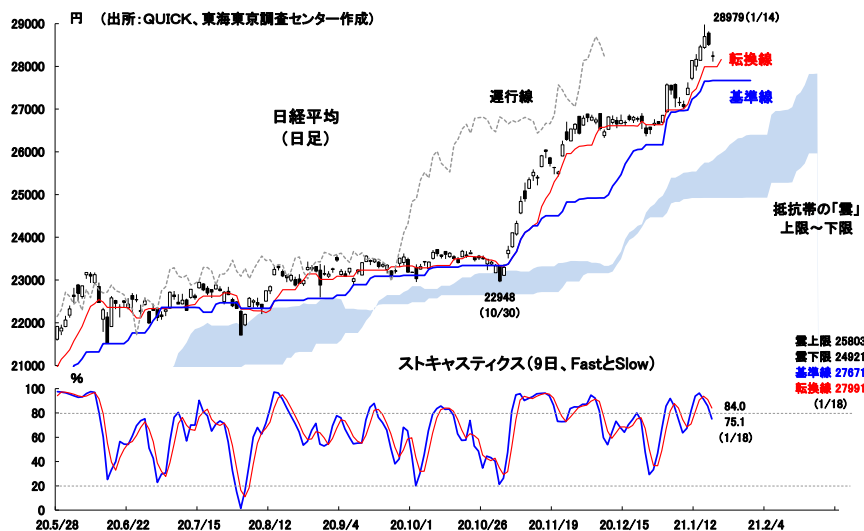


図6 水準を切り上げる転換線に押し上げられるか



東海東京調査センターからの注意事項

【レーティングの定義】

Outperform	今後6ヵ月間における投資成果がTOPIXに対して15%以上上回るとアナリストが予想
Neutral	今後6ヵ月間における投資成果がTOPIXに対して±15%未満とアナリストが予想
Underperform	今後6ヵ月間における投資成果がTOPIXに対して15%以下下回るとアナリストが予想
NR	レーティング、目標株価を付与せず
Suspended	一時的に投資判断、目標株価を保留

このレポートは、東海東京調査センター(以下「弊社」)が作成し、弊社の許諾を受けた証券会社、及び情報提供会社等から直接提供する形でのみ配布いたしております。提供されたお客様限りでご利用ください。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されておりますが、弊社は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された内容は、作成日におけるものであり、予告なく変わる場合があります。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

レーティングの表記は、投資成果がTOPIXに対してOutperform、Neutral、Underperformの3段階で区分表記しています。また、レーティング、目標株価が無い場合はNR、一時的に投資判断、目標株価を保留する場合は、Suspendedと表記しています。対象期間は、投資評価が付与された日を起点として、6ヵ月程度を想定しております。このほか、参考情報として、執筆時点におけるビジネスモデル等の企業評価を記載する場合があります。

アナリストがレポートにおいて企業の目標株価に言及した場合、その目標株価はアナリストによる当該企業の業績予想に基づくもので、期間は6ヵ月程度を想定しております。実際の株価は、当該企業の業績動向や、当該企業に関わる市場や経済環境などのリスク要因により、目標株価に達しない可能性があります。

このレポートで述べられている見解は、当該証券又は発行会社に関する執筆者の意見を正確に反映したものです。執筆者の過去、現在そして将来の報酬のいかなる部分も、直接、間接を問わず、このレポートの投資判断や記述内容に関連するものではありません。

弊社は、このレポートを含め、経済・金融・証券等に関する各種情報を作成し、証券会社等に提供することを主たる事業内容としており、弊社の許諾を受けた証券会社よりこのレポートの対価を得ております。

東海東京証券からの注意事項

このレポートは、東海東京調査センターが作成し、東海東京証券株式会社が許諾を受けて提供いたしております。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます

東海東京証券の概要

商号等 : 東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【リスクについて】

- ◎ 国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等にあたっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますので、ご注意ください。

- ◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。
- ◎ 信用取引またはデリバティブ取引を行う場合は、その損失の額がお客様より差入れいただいた委託保証金または証拠金の額を上回るおそれがあります。
- ※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。
- ※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。
- ◎ 上記以外の上場有価証券等にも価格等の変動による損失が生じるおそれがありますので、上場有価証券等の取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みください。

【手数料等諸費用について】

I. 国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等

国内の取引所金融商品市場における上場有価証券等の売買等についてお支払いいただく委託手数料等は、次の通りです。

(1) 国内の金融商品取引所に上場されている株券等(新株予約権付社債券を除く)

委託手数料の上限は、約定代金の1.2650%(税込)になります。

(2) 国内の金融商品取引所に上場されている新株予約権付社債券等

委託手数料の上限は、約定代金の1.1000%(税込)になります。

※上記金額が2,750円(税込)に満たない場合には、2,750円(税込)になります。

※信用取引には、委託手数料の他に、委託保証金を差し入れていただきます。対面取引における信用取引の委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ500万円以上、ダイレクト信用取引の委託保証金は、売買代金の33%以上で、かつ30万円以上が事前に必要です。加えて、買付の場合は金利、売付の場合は貸株料及び品貸料等をいただきます。金利、貸株料、品貸料等の額は、その時々々の金利情勢等に基づき決定されますので、金額等をあらかじめ記載することはできません。

II. 外国金融商品市場等に上場されている株券等

外国株券等(外国の預託証券、投資信託等を含みます)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券等の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の2通りの方法があります。

(1) 外国金融商品市場等における委託取引

① 国内取次ぎ手数料

国内取次ぎ手数料(上限:約定代金の1.430%(税込))が掛ります。

② 外国金融商品市場等における委託手数料等

外国株券等の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における委託手数料及び公租公課その他の諸費用が発生します。当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

(2) 国内店頭取引

お客様に提示する売り・買い参考価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で算出した社内価格を仲値として、仲値と売り・買い参考価格との差がそれぞれ原則として1.50%、2.50%(手数料相当額)となるように設定したものです。当該参考価格には手数料相当額が含まれているため、別途手数料は頂戴いたしません。

※外国株券等の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際の為替レートは、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものといたします。

III. その他

募集、売出し又は相対取引の場合は、購入対価をお支払いいただきます。また、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。

金融商品等にご投資いただく際のリスク、手数料等は、金融商品等ごとに異なりますので、契約締結前交付書面や上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。